

●川にまつわる話 ●川の歴史遺産 ●ポトムのQ&A

川にまつわる話

18

板橋 春夫

ニワトリの不思議な力

プールの無かった時代、夏になると子どもたちは近くの川で水浴びをしたものです。大雨が降ると川の水があふれ、川には急に深い所ができてたりします。泳げない子どもは、その深い所で足が立たなくておぼれてしまうことがあります。

水浴びをしていておぼれ死んだ場合は、なかなか見つからないものでした。現在でも大勢の人が出て川辺を歩き、舟を出してさがしたりしますが、すぐには見つかりません。

このようなときに、ニワトリを使っておぼれ死んだ子どもをさがすことが行われました。利根川流域の伊勢崎市上之宮町では、水の中に入った子どもがどうしても見つからないときは、タワラッペシと呼ばれる「さん俵」のふたにニワトリを乗せて流して見ました。すると、流れの途中でニワトリが鳴き出すので、その付近をさがすと子どもが沈んでいたといえます。

ニワトリはタワラッペシだけでなく、板、タライ、舟など、いずれも水に浮くものに乗せて流すと、水中に沈んでいる人がいる場所で鳴き出すというものです。利根川や広瀬川で行われ、関東地方では江戸川でも行っていたそうです。現代科学からみれば不思議な話ですが、どうしても見つからないときは思い出したようにニワトリが用いられ、昭和五十年代にも行われていたのです。



水中におぼれ死んだ人がいると、ニワトリがどうして鳴き出すのかはわかりませんが、昔から行われてきた方法で、群馬県だけでなく、北は青森県から南は九州まで同じようなやり方が伝わっており、ほぼ全国的な分布を示すと思われます。天保八年(一八三七)に、鈴木牧之が書いた『北越雪譜』という本には、雪崩で生き埋めになった人をさがすための方法を絵付きで紹介していますが、新潟県では江戸時代に雪崩で埋まっていた場合、生き埋めになった人をさがすためにニワトリを使ったというのです。ニワトリは、人がいると鳴き出すそうです。そのためニワトリが鳴いた付近をさがすと見つかったというのです。

川には河童が住み、時として子どもが水浴びをしていると後ろから襲いかかって川の深みに引き込みます。昔は川の中で行方不明になった死者は水の上に出られない、すなわち「浮かばれない」存在として、こわい妖怪になっていた。こわい妖怪にな

つてしまうと考えられていました。そして、いつまでも水の中にいたのでは成仏できないとされた。そのため人々は水の中に沈んでしまった人を少しでも早くさがし出すことが行われ、ニワトリはそのための重要な役目を果たしたのです。

【参考文献】小花波平六「水死者と鶏」『伊勢崎市史研究』二
号、伊勢崎市、1984年

板橋春夫(いたばし・はるお)

1954年生まれ。群馬歴史民俗研究会代表。著書に「葬式と赤飯(煖平堂、1996年)」「平成くらし歳時記」(岩田書院、2004年)、「民俗学講義」(共著・八千代出版、2006年)などがある。

川の歴史遺産

1

今回から新しいシリーズ「川の歴史遺産」が始まるよ。川にまつわるいろいろな施設が、どんな時代にどんな必要があつて生まれたか、など紹介していくよ。

高崎市の発展と市民の生活を支えた水道施設 「剣崎浄水場」

群馬県内で最初に上水道がつくられたのは高崎市で、今から97年前の1910(明治43)年のこと。全国でも20番目という早い時期だったんだ。水道用水は烏川の水を高崎市上里見の神山取水口から取水し、長さ6・5キロの導水管で剣崎浄水場に運んでいるんだよ。

建設当時の施設は、高崎市の人口3万5000人に対し、5万人分の給水能力があり、市の将来の発展を考えた計画だった。その後1964(昭和39)年、隣接する



▲建設当時の配水池工事のようす
▶今の剣崎浄水場(高崎市剣崎町1317-1)



高崎市水道記念館データ

- 住所/高崎市若田町309-2
- 電話/027・344・4992
- 開館時間/午前9時～午後4時
- 休館日/土・日曜、祝日、年末年始
- 入館料/無料

場所に若田浄水場がつくられ、現在では剣崎浄水場が一日に約5500立方メートル、若田浄水場が約3万5000立方メートルの供給能力を持ち、市内最大の浄水場になっている。1991(平成3)年には、若田浄水場の敷地内に「高崎市水道記念館」が開館した。高崎市の水道の歴史や施設についての展示や、水道のしくみを紹介したビデオを見ることができ、ぜひ一度見学してみてくださいね。

ポトムのQ&A

どうしても知りたいこと、あるんだけど…教えてポトムくん!

AQ

ロックフィルダムってどんなダム?

今回、子ども記者が訪れた奈良俣ダムがロックフィルダムで、岩石や土を積み上げてつくられている。このダムの堤体は、下の図のようにロック、フィルタ、コアと呼ばれる部分からできていて、いちばん外側のロックは、ダムを安定させる役割で岩や土を使い、その内側のフィルタはさらに内側のコアが崩れないように保護する役割で砂混じりの砂利を使っている。そしていちばん内側が「コア」と呼ばれる粘土のような土の壁。この「コア」が、ダムの水を止める役割をしているんだ。

ダムはこのほかに、コンクリートの重さで水圧を支える「重力式コンクリートダム」や、上から見ると上流側にふくらんだアーチ状で、水圧の力を両岸の岩盤と下の岩盤に伝える「アーチ型コンクリートダム」がある。ダムがつくられる場所の地形や地質に合わせて、形を決めているんだよ。

